

これまでに大腿骨近位部骨折の手術を受けた患者さんへ

大腿骨近位部骨折患者の骨粗鬆症治療に関する研究へのお願い

公立福生病院 整形外科では、「全国調査による大腿骨近位部骨折患者の骨粗鬆症治療に関する研究」という多施設観察研究を行っています。

日本は他国に類を見ない勢いで高齢化が進み、それに伴い骨粗鬆症性骨折患者は増加しています。特に大腿骨近位部骨折患者数は諸外国では減少に転じている国が多い中、日本はいまだ増加の一途をたどり、医療・介護費用の高騰を招いているばかりか、日常生活動作の低下を招き健康寿命の延伸に負の影響を与えています。しかし、日本における大腿骨近位部骨折患者の骨粗鬆症治療薬の治療率と治療継続率、再骨折率、死亡率ならびに生活場所と介護度の変化について全国レベルでの調査はありませんでした。

本研究の目的は、大腿骨近位部骨折患者の受傷時、6ヶ月後、1年後の骨粗鬆症治療状況、再骨折の有無と生存状況ならびに生活場所と介護度の変化を調査し、大腿骨近位部骨折患者のデータベースを構築することにあります。そのため、大腿骨近位部骨折の手術を受けた患者さんのカルテの診療データを使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

- 今回の調査研究は、令和2年7月1日～令和2年7月31日に当院で治療を受けた大腿骨近位部骨折患者さんの診療記録が対象です。
 - 過去の記録を使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、患者さんの負担並びに危険性は全くありません。また、患者さんへの直接的な利益もありませんが、研究の成果は、将来の大腿骨近位部骨折の骨粗鬆症治療に関して有益となる可能性があります。なお、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
 - 本研究で利用する資料、情報、記録は、直接ご本人を特定できる個人情報とは削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。
 - ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧ください。ご希望の方は、「問い合わせ先」までご連絡下さい。
 - この調査研究は日本整形外科学会プロジェクト研究班による研究であり、鳥取大学での倫理審査委員会審査され、承認を受けた後、当院の倫理審査委員会でも承認されています。
- 研究期間：令和3年4月1日～令和5年3月31日

ご自身の資料、情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡下さい。研究に使用してほしくない場合は、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意志であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心ください。

【問い合わせ先】

公立福生病院 整形外科 042-551-1111 （平日：14～17時）

この調査研究は、今後の医療の発展に資するものですので、ご理解ご協力の程、何卒、よろしくお願い致します。